



イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】リーダーに学ぶ「リーダーはどうあるべきか」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	入社後、自閉症の長男を含む3人の子と、うつ病を患い43回の入院と3度の自殺未遂をした妻を抱え、家族の命と心を守りながら会社の仕事にも全力投球し、同期トップで取締役になった体験談。家族とは何か、仕事とは何か、生きるということは何かを問う一方、究極の状況の中で、仕事への情熱を持ち続け、効率的に仕事を成し遂げ確立した仕事術も説きます。一人でなせることは限られています。部下を育てるリーダー。上司を動かすリーダー。家族を守りぬくリーダー。リーダーシップとはなにか、自己の体験や先人達を通じてこれからの時代のマネジメントとリーダーのあるべき姿を説きます。
日にち	2017年01月19日（木） 19:00から20:30
日にち説明	18:30開場
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）

発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（事前申込順）
参加費用	500円（千代田区民・学生無料）

講師・出演者	佐々木常夫
プロフィール	<p>■佐々木 常夫（ささき つねお） 秋田市生まれ。株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチ代表取締役。</p> <p>69年、東京大学経済学部卒業後、東レ株式会社に入社。家庭では自閉症の長男と肝臓病とうつ病を患う妻を抱えながら会社の仕事でも大きな成果を出し、01年、東レの取締役、03年に東レ経営研究所社長に就任。</p> <p>内閣府の男女共同参画会議議員、大阪大学客員教授などの公職も歴任。「ワーク・ライフ・バランス」のシンボリック的存在である。</p> <p>著書に『ビジネスマンが家族を守るとき』『そうか、君は課長になったのか』『働く君に贈る25の言葉』『リーダーという生き方』『働く女性たちへ』（以上、WAVE出版）、『ビジネスマンに贈る生きる「論語」』（文藝春秋）『それでもなお生きる』（河出書房新社）『実践・7つの習慣』（PHP研究所）『上司の心得』（角川新書）『50歳からの生き方』（海竜社）などがある。</p>

主催	公益財団法人上廣倫理財団
共催	千代田区立日比谷図書文化館


問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2016年11月19日 10:00 から2017年01月19日 19:00
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2017年 01月						
	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21

	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

発信日	2016.11.19
-----	------------

 印刷

 リストに追加

[ツイート](#)